

ごみの減量化の必要性

問 建設課 環境係 ☎62-9114

ごみを「出さない」ことが、ごみ問題のもっとも効果的な解決策。

こうした考えのもと、国でもリデュース（発生抑制）を重視した施策が進められています。

たとえば、プラスチックごみの削減に向けて、コンビニなどでのスプーンやフォークの無償配布の見直しが行われたり、企業や自治体によるリユース容器の活用を支援する仕組みが整えられつつあります。

また、製品を長く使えるように設計する「エコデザイン」や、食べきり・買いすぎを防ぐ「食品ロス対策」など、日常の消費行動に目を向けた取り組みも広がっています。

国の方針だけでなく、それを実現するのは地域と私たち一人ひとりの行動です。暮らしの中の「ちょっとした選択」を意識することが、ごみを減らし、未来につながる大きな一歩になります。



次回は、こうした流れの中で進められている、県の具体的な取り組みについてご紹介します。

参考：消費者庁「食品ロス量の推移と削減目標」